

2012年 ECVS バルセロナ大会に参加して

相川動物医療センター 相川 武

2012年7月5-7日スペイン、バルセロナにおいて ECVS 学会が催され、日本からは2名の参加がありました。そのうち枝村一弥（日本大学）先生グループのポスター発表

(Comparison of proliferative potential and chondrogenic differentiation potency of stem cells in dogs) が、13演題の口頭発表(5分)の一つに選出され、最終日のディナーパーティーにて small animal 部門の最優秀ポスターとして表彰されました。

私達のグループの6演題のうち、2演題をまとめ構成された Short communication 講演 (Assessment of post-operative recovery, incontinence and recurrence in 831 dogs with T-L IVDD) が、ECVS における日本人最初の講演として記念プレートを贈呈されました。その他、2演題 (IVDD in French Bulldogs, Modified ventral stabilization in 49 AAI dogs) が口頭(各15分)、2演題 (Disc associated vertebral instability in 11 dogs, Epidural ISP in 4 dogs) がポスター発表されました。

ACVS 学会と同様、講演の多くが ECVS /ACVS の専門医によるものですが、ACVS 学会と比較すると参加人数が少なくアットホームな学会でした。英語が使用されますが、欧州全土から英語を母国語としない獣医師が参加しており、休憩やパーティーの時には至るところで各母国語を使用している様子が見られ、また、欧州スタイルのディナーパーティーなどはアメリカでの学会には見られないものでした。

来年のECVS学会は、2013年7月4－6日にRomeで開催される予定です。2012年1

0月23日に学会発表の投稿受付がon-lineにて始まっています。



学会のプログラムと講演者に贈られる記念プレート。



ディナーパーティー会場にて。